

# 自立活動指導案

日 時 平成 29 年 10 月 5 日 (木曜日) 5 時間目

対象児童 知的障害学級 3 年男子 1 名 5 年男子 1 名

自閉症・情緒障害学級 4 年男子 1 名 計 3 名

## I 単元名 「ほろろっこクッキー屋さんを開こう」

## II 単元目標

- (1) 体験活動や作業を通して、他者と関わることができる。
- (2) 自分の力で仕事に取り組むことができる。

## III 単元設定の理由

今回の授業は知的障害学級在籍が2名、情緒障害学級在籍が1名での合同学習である。本校の合同学習は自立の活動の時間に体づくりや収穫祭、調理学習などの活動を行ってきた。合同学習を行う際には自立活動のチェック表を使い、児童の実態を把握し、個々の活動の目標を明確にした。加えて子供同士の関わり合いの中でお互いが学ぶことをねらいに取り組んできている。本校は地域柄、お店に行き自分で買い物をする機会が少ない。また小規模校ということもあり、人との関りや人前で活動するなどの経験が多くはない。そのようなことから体験的な活動を通して相手を意識したり、自分の役割の大切さを感じることが出来るような学習を取り入れてきた。

今回の単元である「ほろろっこクッキー屋さんを開こう」は、特に人間関係の形成、心理的な安定を身に着けるために設定し、一昨年から取り入れた学習活動である。昨年度は、自分たちで育てた野菜とお店で買ってきた材料からクッキーを作り、それを保護者に買ってもらうという活動を行ってきた。今年度は、より「①他者とのかわり」「②自分の力で仕事に取り組むこと」に焦点を当て活動を設定した。内容としては、地域の方に協力を願い牛乳絞りの体験をさせてもらうこと、保護者や児童を相手にシミュレーションを行うこと、開店当日には初対面のお客様に対応することで①②を高めることを重点として設定した。また、児童の実態に合わせた作業内容の設定と支援の工夫を図ることで、教師の指示なしに自分の力で判断し行動できることをめざす。そのことで、自分の仕事のできた達成感を味わわせ、自分の役割を果たすことの大切さやすばらしさに気付かせたい。

### 自立活動の区分、項目との関連

#### 3 人間関係の形成

- (1) 他者との関りの基礎に関する事
- (4) 集団への参加の基礎に関する事

#### 6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事
- (2) 言語の受容と表出に関する事
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事

#### 2 心理的な安定

- (2) 状況の理解と変化への対応に関する事

#### 5 身体の動き

- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事

#### IV 児童の実態と活動内容について

児童名	単元に関する児童の実態と支援	児童が単元で身に着けたい力
	<p>削除</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の役割を把握し、手順を確認しながら仕事ができる。</li> <li>○集団の一員として何かをやり遂げたうれしさを感じる。</li> <li>○自分のしたことが他の喜びにつながっていることを感じる。</li> <li>○場に応じた言葉のやりとりができる。</li> <li>○作業の手順を理解し手際よく作業することができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○状況が変化しても最後まで自分の役割をやり抜こうとしている。</li> <li>○その場に合った言動で対応できる。</li> <li>○集団の中で、自分から関わりをもとうとしている。</li> <li>○お客さんに声をかける時に、お客さんの目を見て話することができる。</li> <li>○仕事の仕方と仕事をする場を把握し、円滑に進めることができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集団の中で活動に参加することができる。</li> <li>○何かしてもらった時にありがとうを言うことができる。</li> <li>○相手の表情をまねることが出来る。</li> </ul>

#### V 単元計画

## (1) 主な学習活動

時間	主な学習活動・内容	自立活動の区分、項目との関連
1 時間目 9 月 12 日	一昨年、昨年の「ほろろっこクッキー屋さん」の活動を振り返ろう ・ 昨年度までの写真やビデオを見る。 今年の「ほろろっこクッキー屋さん」について知ろう ・ 活動の流れの確認をする。 ・ 課題の確認をする。 ～お客さんに喜んでもらえるようなお店屋さんを作ろう 「お客さんが喜ぶ＝笑顔」「＝おいしい」 ・ 材料の確認、購入、乳しぼりについての確認をする。	3－(4) 6－(1)
2 時間目	自分たちで育てた野菜を協力して収穫しよう ・ クッキーの原材料になるかぼちゃを収穫する。	3－(4) 5－(5)
3・4 時間目 9 月 20 日	地域の牧場で牛乳絞りをさせてもらおう ・ ココアの原材料になる牛乳を搾る。 ・ 地域の牧場の方と挨拶・お礼を言う。	3－(1) 5－(5)
5 時間目	クッキーの材料を買いに行こう ・ 近所の農協に材料を買いに行く。 ・ お店の人に挨拶を言う。 ・ お金を使った商品の購入を行う。 ほろろっこクッキー屋さんに飾るに掲示物を作ろう ・ 注文カードの使い方を知らせる掲示物を作る。 ・ 感想シールの使い方を知らせる掲示物を作る。	2－(2) 6－(2) 6－(5) 5－(5)
6・7 時間目	協力してクッキーとココアを作ろう ・ それぞれの役割でクッキーとココアを作る。 ・ お互いの仕事を見たり、他の人の手伝いをする。	3－(1) 3－(4) 5－(5)
8 時間目	あいさつや調理、接客の練習をしよう ・ 販売の手順を確認し、言葉のやり取りの練習をする。 ・ 調理の手順を確認し、練習をする。 ・ 接客の手順を確認し、言葉のやり取りの練習をする。	6－(1) 6－(2) 6－(5) 5－(5)
9 時間目 10/4	ほろろっこクッキー屋さんの練習をしよう ・ 実際にシミュレーションを行う。 ・ 学校の児童、保護者にお客さんになってもらい実際と同じように練習を行う。	2－(2) 3－(4)
10 時間目 10/5 (本時)	ほろろっこクッキー屋さんを開こう ・ 全体で今日の流れの確認と開店の挨拶をする。 ・ クッキーの販売、イートインコーナー、調理場にわかれて各自の仕事をする。 ・ 片付け (授業終了 10 分前～) 今日の振り返りをする。	2－(2) 3－(4)
11 時間目	「ほろろっこクッキー屋さん」の振り返りをしよう ・ お客さん感想シールの表を見ながら感想を確認する。 ・ ビデオを見ながらお客さんの表情や自分達の活動を振り返る。 ・ 注文カードの数を見ながら売った数を確認する。 ・ 自分たちが作ったクッキーを食べ、味を確認する。	3－(1) 3－(4)

## (2) 個別に行う事前指導

O・I	K・A	U・A
○今年度活動する内容の確認 ○ナンバリングをした作業手順の練習 (日常の学校生活で実施) ○ipad を使い、自分の話す姿を映像に残し、話し方や声の大きさを確認し練習する。	○今年度活動する内容の確認 ○友達やお客さんとのやりとりの練習 ○様々な状況に対応した行動を事前に考えておき、ヘルプカードする	○今年度活動する内容の確認 ○調理の事前練習 ○販売の練習 (遊びの時間を使ったごっこ遊び) ○片付けの練習 (日常の学習で実施)

## VI 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ①お客さんを意識しながら、自分の仕事に意欲的に取り組むことができる。
- ②実際の接客や販売を通して、お客さんとやり取りをすることができる。

### (2) 本時の個別の目標

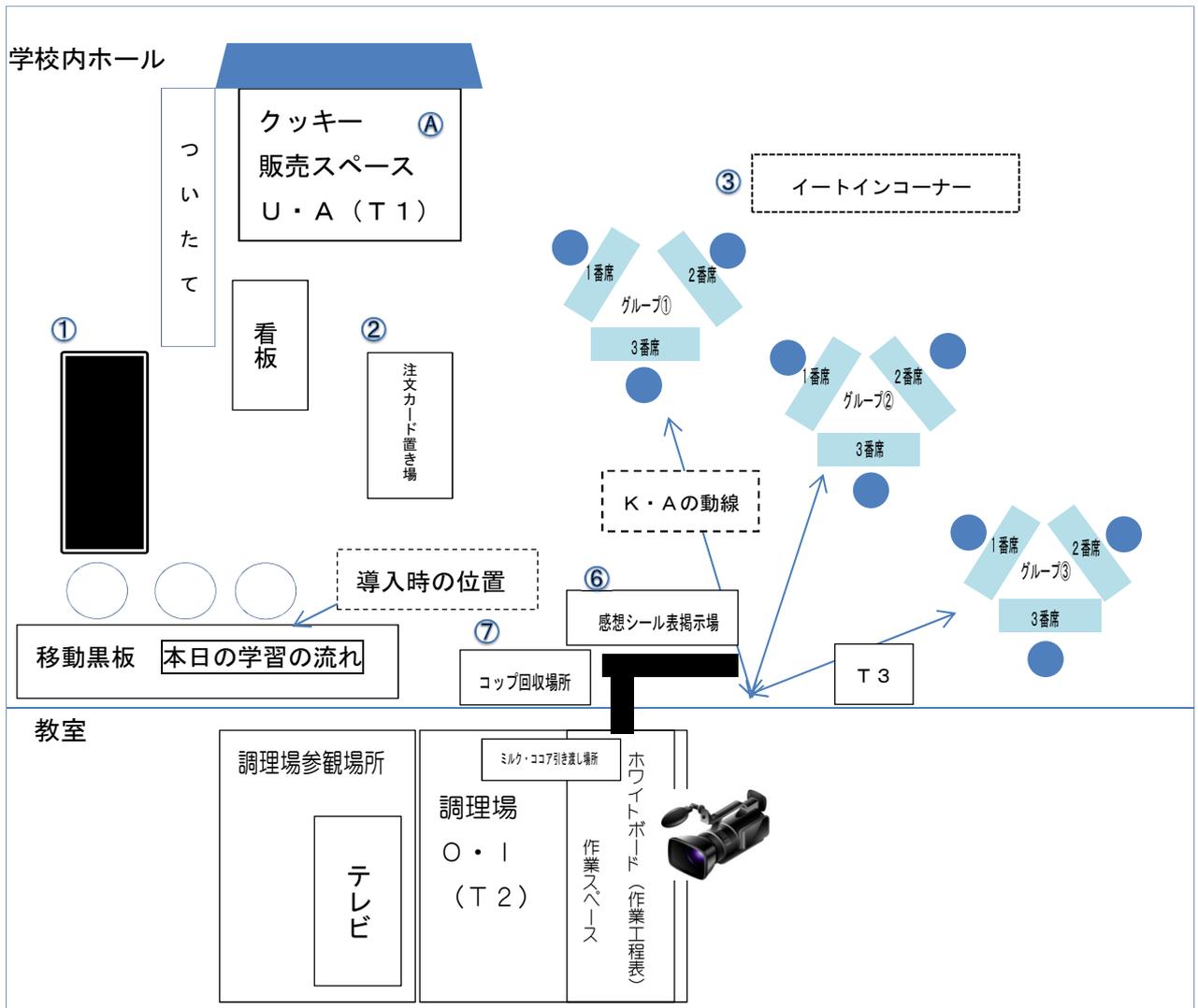
児童名	本時の個別の目標（自立活動の区分・項目）
O・I	その場にあった状況を考え、手順表を見ながら、注文通りにミルクやココアを提供できる。 心理的な安定【2-(2)】
K・A	その場に合った言動で対応できる。 心理的な安定【2-(2)】
U・A	「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」「どうぞ」を言い、クッキーの販売をすることができる。 人間関係の形成【3-(4)】

### (3) 本時の流れ

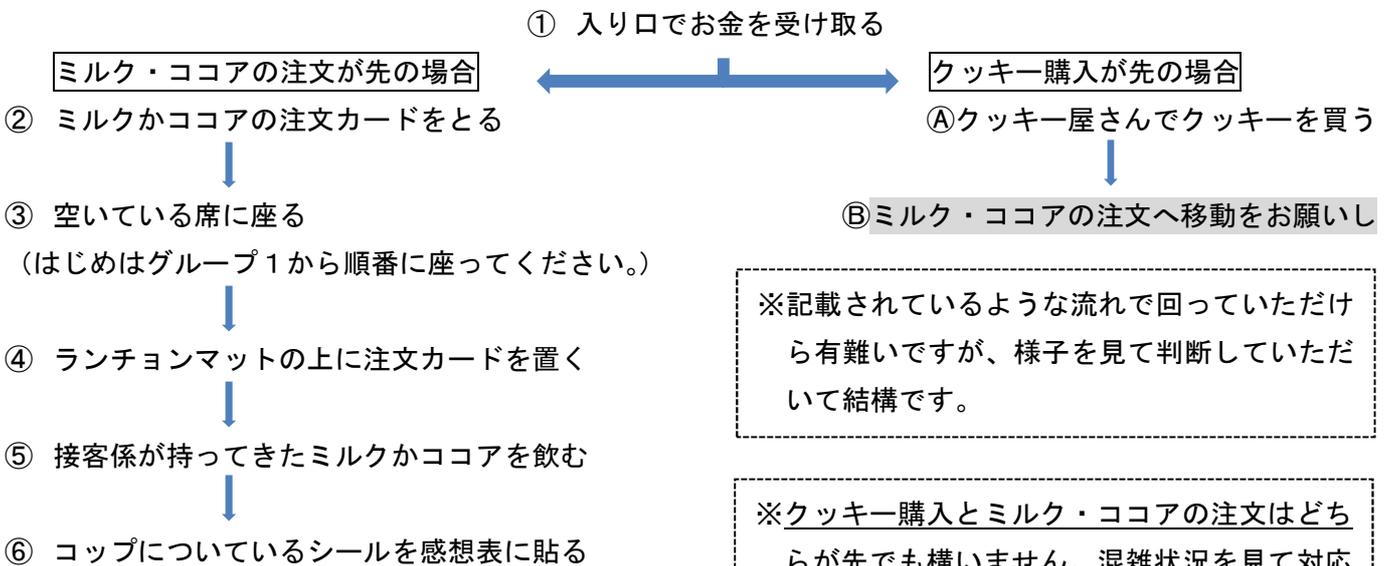
主な学習活動	○具体的な児童の活動 ■教師の支援 ☆評価		
	O・I（調理）T2	K・A（接客）T3	U・A（販売）T1
導入 7分	1 はじめのあいさつ	○ホールに集まり自分の席に座る。 ■お客さんの多さに戸惑う可能性があるため、はじめに子供たちに紹介し、後でお客さんになってもらうことを伝える。 ■児童が自分の席がわかるように席に印をつけておく。	
	2 本時の流れと目標の確認	○教師から今日の学習の流れを聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">目標 お客さんが喜んでくれるお店屋さんを開こう！ 【予想されるキーワード】 「えがお」「おいしい」「ありがとう」「がんばる」</div> ■授業の流れがわかるようにカードを用意する。	
展開 30分	3 開店の準備	○エプロンを付ける。 ○カードを確認する。 ○代表者が看板を飾る。 ○みんなで「いらっしゃいませ」と声をかける。	
	4 各自の仕事	①調理場で手順表を声に出しながら読み、作業を確認する。 ■児童と一緒に作業の内容を確認させる。	①お客さんが席に座り、注文カードを置いたのを確認して接客を開始する。 ②お客さんが机に注文カードを置いたら「いらっしゃいませ」と挨拶をする ■教師は直接的な指示ではなく、児童が活動するきっかけになるような声掛けを中心に行う。
			①「いらっしゃいませ」の挨拶をする。 ■作業の流れが視覚的にわかる手順表を用意する。 ②お金をもらい、レジの中に入れる。 ■具体物（お金や食品）を用いた活動を行うことで、より実生活に近く、商品を

			<p>③注文カードをもらい「少々お待ちください。」と返事をし、注文カードの半分を切り、半券を机に置く。  <b>■言葉に詰まった場合はヘルプカードを見に行くように促す。</b></p> <p>④注文カードを調理場のO・Iに渡す。  <b>■児童の活動がねらいに近づけるよう、OKのサインで知らせたりすることを随時行う。</b></p> <p>⑤できた飲み物をお客さんに差し出す。その際に机にある半券を回収する。  <b>■半券をすぐに回収できるようにショルダーバッグを用意する。</b></p> <p>⑥席を立つお客さんに「ありがとうございました」と挨拶する。  <b>■ヘルプカードを調理場を用意し、困ったときに見に行くことを伝える。</b></p> <p>☆その場にあった言動で対応することができたか。</p> <p>○テーブルの上は何もない状態から自分で準備したものを片付ける（ランチョンマット等）  <b>■何もない状態を思い出せるように写真を見せて伝える。</b></p> <p>☆自分で必要なことを考え、最後まで仕事ができただか。</p>	<p>提供するという目的意識をもって主体的に取り組ませる。</p> <p>③用意してあるクッキーをお客さんに「どうぞ」と言って渡す。  <b>■教師の指示なく、挨拶やレジの仕事に集中できるようにできる限り同じ行動を繰り返せるように補助を行う。</b></p> <p>④「ありがとうございました」の挨拶をする。  <b>■相手に合わせて笑顔で言葉が言えるように視覚的なものを用意する。</b></p> <p>☆「いらっしやいませ」「ありがとうございました」「どうぞ」を言い、クッキーの販売ができたか。</p> <p>○販売に使ったレジスターを片付ける。  <b>■レジスターを片付けることがわかる絵を用意する。</b></p> <p>☆最後まで自分の仕事ができただか。</p>
5	片付け	<p>②接客担当から渡された注文カードをホワイトボードに貼る。言葉で「ココア一つ」と確認する。</p> <p>③ナンバリングされた手順表を見ながら、ミルクとココアを用意する。  <b>■今どの作業をしているのかナンバリングされた番号を声に出して確認しながら作業を行うよう声をかける。</b></p> <p>① 出来上がった飲み物を接客担当に渡す。  <b>■グループごとにミルクかココアを用意できるように、受け渡す場所を3色に色分けしたものを用意する。</b></p> <p>☆自分の仕事をナンバリングされた手順通りに確認しながら飲み物を提供できたか。</p> <p>○調理場の片づけを手順表を見ながら行う。  <b>■何をしたらよいのか困ったら手順表の確認を促す。</b></p> <p>☆手順通りに最後まで仕事をすることができたか。</p>		
まとめ 8分	6	ふりかえり	<p>○本時学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想シール表をみんなで確認する。</li> <li>・注文カードを見て、どのくらい売り上げることが出来たのかを確認する。</li> <li>・クッキーを売った金額を確認する。</li> <li>・友達との関りについて振り返る質問をする。</li> </ul> <p><b>■役割をやり遂げた達成感をもたせるように視覚的にわかるものを用意する。</b></p> <p><b>■友達を意識できるような質問を教師が行い、お互いのかかわりについて振り返らせる。</b></p>	

(4) 場の設定



お客さんの流れ



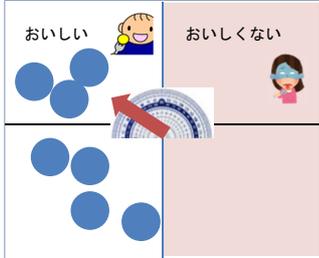
※記載されているような流れで回っていただけ  
ら有難いですが、様子を見て判断していただ  
いて結構です。

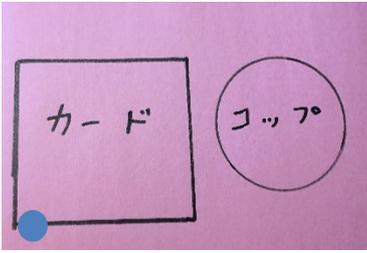
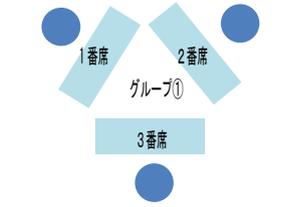
※クッキー購入とミルク・ココアの注文はどち  
らが先でも構いません。混雑状況を見て対応  
していただくようお願いします。また、購入  
していただいたクッキーは、イートインコー  
ナーで食べていただいて結構です

⑦ コップを回収場所へ持って行く

クッキー購入へ移動をお願いします

(5) 教材・教具

学習計画表	感想シール表	調理係手順	ミルク・ココア調理用コップ
			
<p>学習内容がわかるように活動場所やサインなどを併記したもの。見通しがもてるようにナンバリングしたもの。</p>	<p>お客さんに感想に当たるところにシールを貼ってもらう。感想の項目は児童が相談して決める。視覚的にわかりやすく、達成感の持てるものにするためにシールの数が増えると目標達成の度合いを知らせる矢印が動くようにする。</p>	<p>調理手順が自分で確認できるように具体物と文章にナンバリングを行う。児童がつまずいた場合は、何番まで作業したかを確認させる。</p>	<p>透明のコップに注ぐ量がわかる印をマジックで書いたものを用意する。児童の実態から、テープの範囲内に容量が達することが出来ればOKとする。</p>

注文カード	ランチョンマット	ショルダーバッグ	イートインコーナーの座席
			
<p>児童が一目でわかるように色で分け、大きさもはがきサイズを用意。半分に簡単に切れるようにしたもの。</p>	<p>机に接着しておく。コップとカードの置き場所がわかるようにしたもの。接客係が左側からコップを提供するために左側がわかるようシールを付けておく。</p>	<p>飲食終了後、注文カードの半券を回収するために接客係の児童が常に肩から下げておく。</p>	<p>3つのグループ、3席ずつ用意。グループ番号、座席番号をそれぞれわかるように掲示しておく。1グループごとに接客するようにする。</p>

調理場とトレイ	レジスター	クッキー販売係手順表	タイマー
 <p>↑① ↑② ↑③</p>			<p>はじめ お店屋さん かたづけ おわり</p> 
<p>テーブルごとに運ぶことが出来</p>	<p>クッキー販売時に使う。児童が普段</p>	<p>販売の際に流れがわかるもの</p>	<p>お店の営業時間を知らせる。児</p>

るように色分けと番号でわかるようにしておく。トレイもコップを固定できるものにし、テーブルごとに用意する。	の学習や遊びでよく使っているものを使う。お金をもらう→レジに入れるの流れを普段の学習でも練習を行う。	を文字と絵でわかるようにしたもの。	童が自分の仕事の初めと終わりが意識できるように見えるところに掲示する。
--	--	-------------------	-------------------------------------

トレイ	ヘルプカード
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>こぼしてしまったら </p> <p>■雑巾置き場から雑巾をもってきてふく</p> </div>
接客係の児童の実態を考え、ある程度コップが固定されて、お客さんの机に置きやすいものを用意する。グループごとに運べるように、コップを3つずつおけるものを3色にわけて用意する。	当日は、初対面で大人数の客さんに対応するので、接客係が万が一困って何をしたら良いのかわからなくなったら、まずは調理場のヘルプカード見て落ち着けるようにする。

### 準備するもの

- クッキー ○ココア ○牛乳 ○コップ
- 看板 ○販売店舗（長テーブル）○机 9個 ○椅子 9脚
- 注文カードを入れる箱 ○注文カードを知らせる掲示物 ○ついたて

## ～参観していただく皆様にお願ひ～

本学習では参観していただく皆様にも「お客さん」としてご協力していただきますようお願いいたします。また今回の授業は「他者とのかかわり」「自分の力で仕事に取り組むこと」高めることを重点として設定しており、児童の実態に合わせた作業内容にしています。以下のことを配慮し、ご協力をよろしくお願ひいたします。

- ① クッキー販売スペースとイートインコーナーにお客さんの偏りがないように配慮をお願いします。
- ② 注文カードをとる、飲んだコップを片付ける作業については、セルフでお願いします。また、飲み終わった後に感想シールを表に貼ってください。
- ③ 調理場は狭くなっています。隣の教室から作業の様子を見ることが出来るので、そちらから参観をお願いします。また調理場内にビデオを設置し、隣の教室のテレビでその映像を見ることが出来ます。